



# 加悦谷 ニュースレター



一人一人の可能性を伸ばす  
加悦谷高等学校  
宮津天橋高等学校  
加悦谷学舎

vol. 7 (1月)

題字：書道  
武縄 咲希(1年) 作

## 進路指導部長からのメッセージ



本校には、生徒の進路相談や進路情報を得るために、足しげく進路指導部に通う担任がいます。進路指導には就職においても進学においても、情報を収集・共有し、生徒の進路希望に合わせて選択肢を提示することが求められます。担任は目まぐるしく変化する入試に対応するだけでなく、日々生徒の成長を見守りつつ、面談を通じて生徒理解に努めています。そして、面談から得た進路希望を何とか実現させようと進路指導部や教科担任と相談しながら実現への道を模索し、生徒に情報提供します。今年も進路実現に関わって多くのドラマが生まれました。校内のあちこちで、内定や合格を勝ち得た生徒と共に泣いて喜ぶ光景を数多く見ました。生徒が一歩懸命に自分と向き合い、弱い部分を補いながら教員と一緒に実現させるのはとても感動します。

今年度も小規模校であるという利点に加えて、生徒と向き合い真剣に生徒の将来を考える教員

の存在が「一人一人の可能性を伸ばす」のだと感じることができた1年でした。

今後も進路指導部として、担任そして生徒を支えるべく、情報収集・情報共有に励みたいと思います。

## キャリア教育講演会



校生徒  
対象に、  
12月11

日(金)、キャリア教育講演会を実施しました。

講師として、一般社団法人ゼロ・ウェイト・ジャパン 代表理事の坂野晶様にお越しいただき、「飛べない鳥にあこがれて」と題して御講話いただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場を第二体育館と3つのホームルーム教室とに分けて行いました。

坂野様には、これまでのご自身のキャリア(留学、海外勤務そして帰国後の働き方)のことと、活動をとおして今の世界のゴミ事情について御講話いただきました。講演の最後には生徒たちに

「"Life begins at the end of your comfort zone" ~自分のコンフォートゾーン(心地よい空間)を少し超えたところ、少ししんどいと思ったところに本当の人生がある。だから選択に迷ったときはちょっとしんどい、と思う方を選んでほしい~」

との言葉を送っていただきました。生徒からは、

「最後の言葉を聞いて、迷ったときの判断基準ができました！」

等の感想があり、坂野様の話から刺激をもらっていました。



上く講演会の様子>  
下くホームルーム教室での様子>

## 【アスリートスポーツ】 スポーツ交流



スリートスポーツコースの3年生と三河内小学校の5、6年生の児童とで、12月16日(水)にスポーツ交流会を実施しました。

進行からトレーニングメニューの考案まですべて生徒主導で考え、当日も生徒の進行で交流会を進めました。トレーニングメニューは、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、飛沫が飛ばないようなものを考案しました。

柔軟体操、準備運動として、ジャンプしながら移動して鬼にタッチされたらその場でジャンプし続ける氷鬼のルールを少し変化させたものをレクリエーションを兼ねて行い、その後、サーキットトレーニングとして、ラダー、縄跳び、バランスボールを行いました。最後に再び柔軟体操をして、交流会を締めくくりました。

雪がちらつく寒い日ではありましたが、1時間思いっきり身体を動かすことで芯から身体を温め、楽しむことができました。また、生徒は交流会をとおして準備の大切さや、小学生への接し方など、多くのことを学ぶ機会となりました。



<スポーツ交流の様子>

上:柔軟のサポートをする生徒の様子

下:新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の様子



## 【合唱部】 クリスマスライブ



＜マイクパフォーマンスを披露する合唱部＞

# 新

型コロナウィルス感染症拡大により、いろいろなことに制限がかかっている中、少しでも明るい雰囲気学校にもたらしたい！との想いから合唱部が12月18日(金)にクリスマスライブを第二体育館で行いました。当日は、50人以上の観客が集まりましたが、事前に整理券を配付したり、ソーシャルディスタンスを保つため、鑑賞する場所を指定するなどの新型コロナウイルス感染拡大防止対策をきっちりと行った上での実施となりました。

定番のクリスマスソングを歌い、クリスマスプレゼント企画も行い、一足先に観客にクリスマス気分を味わうことのできる場を提供しました。

## 【3年生】 与謝野町こども発表会

# 与

謝野町で開催された「与謝野町こども発表会」で本校を代表して、吉田瞳耶くん(3年・江陽中)が発表しました。

「高校生で学んだこと」と題して、部活動に入ることでの忍耐力や継続力にさらに磨きがかかり、学業との両立を実現させることができたこと、仲間との絆やライバルとの切磋琢磨し合えたことで自分の能力を高めることができたこと、苦手なことに挑戦することで自信が得られたこと、等を発表しました。また、これらをとおして、「学校生活を充実させること」、「学習の習慣を身につけておくこと」が大切であることを町の子どもたちへのメッセージとして送りました。



＜発表をする吉田瞳耶くん＞

## 【1年生】 企業講話



＜講話を聴く生徒＞

# 視

野を広げて進路選択できるように、地元で企業経営をされている方々を講師としてお招きし、企業講話会を実施しました。講師として、社会福祉法人よさのみ福祉会理事長の青木一博様、株式会社さきしべ建設代表取締役の岸部敬様、京近淳デザイン事務所代表の京近淳様、株式会社シオノ鑄工代表取締役の塩野浩士様そして与謝野町役場総務課課長の本田実佐子様の5名の方にお越しいただきました。

講話では、地方で働くことの魅力や各業界の仕事の概要や特徴など様々な内容をお話いただきました。生徒の感想に、

「自分が今まで思っていた福祉のイメージが変わりました。」「今まで建設業は大変というイメージ

しかなく、とても勇気のいる仕事だと思っていましたが、今回の講演でカッコいいというイメージに変わりました。」「田舎でもデザインができることを知って、田舎で働くということも視野に入りたいと思いました。」「田舎より都会の方が優れている」というのはイメージだけで、マイナスの面もあることがわかりました。」等が見られるなど、働くことに対する視野を広げる機会となりました。



＜講話を聴く生徒＞

## 【生徒会】 与謝野町のSNSを活用して広報をしていきます！



＜よさの高校生広報室@みらいメンバー＞

# 7

月に実施した、与謝野町長との対話授業では、「高校生の私たちができること」をテーマに話し合いました。話し合った中で、「高校生目線で与謝野町の良さをSNSで発信していく」というアイデアが出ました。今回、そのアイデアを実現することに成功しましたので、報告します。

【よさの高校生広報室@みらい】という広報チームを作り、令和3年1月から、与謝野町の広報誌「広報よさの」や与謝野町のHPや公式Facebookページなどをとおして、高校生目線で気づいた与謝野の魅力や魅力ある人たちを見つけて、その良さや魅力をお伝えしていきます！

生徒が町に出ていく機会も増えます。見かけたらぜひお声がけ・応援のほどよろしくお願いします！

## 今、加悦谷がNEW TYPE

生徒たちの学校生活なども更新中！Web サイトもご覧ください

加悦谷高校

検索

宮津天橋高校

検索



京都府立  
加悦谷  
高等学校



京都府立  
宮津天橋  
高等学校  
加悦谷学舎

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話：0772-42-2171

FAX：0772-42-2172

電子メール：

kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

高校HPの  
QRコード⇒

